

作曲家・林光さん 高校生と公開授業！



絵・佐藤 信

作曲家・林光(はやしひかる)

1931年 東京生まれ。東京芸術大学作曲科中退。1953年 間宮芳生、外山雄三らと「山羊の会」を結成。日本語と音楽との自然な結びつきを探究し、オペラシアターこんにゃく座の座付作曲家として「森は生きている」「変身」などのオペラを作曲、オペラ「吾輩は猫である」(1998)により第三十回サントリー音楽賞を受賞。また俳優座、黒テントと共働した音楽劇や、映画音楽、宮澤賢治、ブレヒトの歌曲など多数。NHK大河ドラマ「国盗り物語」「花神」「山河燃ゆ」などの音楽はお茶の間でも大変親しまれた。

受講高校生 募集中！

受講を希望する高校生は、下記・問い合わせ先までご連絡下さい。

ひとりの憲法

— 高校生と一緒に、憲法を考えてみませんか —

と き 2010年4月10日(土) 13:30～
(授業90分、終了後は会場参加者とトーク予定)

と ころ フォレスト仙台ビル2F ホール
(地下鉄北四番丁駅・下車 北2出口より徒歩約7分)

参加費 1000円(高校生以下 無料)

////// 以下は、参加する高校生にあてた林さんからのメッセージです。

十何年も前のことだ。
中学生が自由な髪型にすることが流行り、いくつもの学校がそれを禁じた。
したがわなかった生徒がハサミで髪を切られた。
だれかが言った。
髪ぐらいなんだ。切ったって血も出ないし、痛くもないじゃないか。
ぼくは、そうは思わなかった。
じぶんのきもちに反して髪を切られるのは痛いし、目には見えない血も流れる。
ぼくはじぶんで詩を書き、「じぶんはひとり」という歌をつくった。

ひとはさまざま	はなすことばも
てあしもかおも	かみのけも
ながいかみ	みじかいかみ
なみうつかみ	きつくむすんだかみ

つくりながら、夫に死なれ、心ならずも髪を切って尼になった江戸時代の女のこと、
学問を捨て、恋人と別れ、
頭を丸刈りにして戦場へ向かった昭和時代の青年のことを、ぼくは思った。
「じぶんはひとり」は、ぼくの憲法だ。
だれもが心のなかに、じぶんだけの憲法を持っている。
でなければ 持つことができると、ぼくは思う。
そんな話をきいてもらったり、いっしょに歌をうたったりして、
ひとときを共にすごしたい。

////// 林 光